

71 安全管理

下水道工事における地域住民(関係住民)対策

橋本建設株式会社
工事部所長
山本 勝之

1. はじめに

高岡市下麻生地内の県道下水道工事は平成30年度より5か年計画で行われており、下水道の復旧により、河川の浄化、生活環境の改善が顕著に表われている。

この現場は交通量も多く、事前調査した結果、平日に平均、約日/1,800台以上、一般車両、大型車両等も通行する、主要道路で通行止めが出来ない事と道路幅員は片側3.0mと狭く、一車線規制にて(深さ平均3.2m、幅1.100m)土留として建込簡易土留材(パネル)を使用し、塩ビ管Φ150mmを布設するもので掘削機(0.25m³級、ダンプトラック4t車両2台)で工事を開始すると、近隣住民の車両及び近隣工場の大型車両の出入りが出来なくなる。又歩行者等の通行にも不便をかけることになる。

工事を施工していく上で重要なことは関係住民とのトラブル又、工事に伴う交通事故を絶対起こさないようにしなければならない。当工事現場でも関係の近隣住民車両の仮駐車場や車両の移動など関係住民の方の理解、協力なしでは工事の完成させることが出来ない。いかにトラブルや事故を無くし工事を進めていくかについて苦心した事柄を述べたいと思う。

工事概要

- (1) 工事名：下麻生汚水枝線第4号工事
- (2) 発注者：富山県 高岡市上下水道局工務課
- (3) 工事場所：富山県高岡市下麻生地内
- (4) 工期：令和2年7月31日～
令和2年11月10日

2. 現場における問題点

工事区内は、学童の通学路になっており、寺院、公民館が有る。公民館はごみ集積場にもなっており、又近くには大型車両が多く出入りする工場も多く有るため、車両の出入りが頻繁で、現在の交通方法では接触事故が起こりやすくなる。又関係住民の方には迷惑をかけることになる。この問題は関係住民の方々の協力なしでは、解決できないので近隣住民及び工場の方々には書面により協力をお願いした。

3. 工夫・改善点と適用結果

- ① 工事着手前に各種看板(工事看板、お願い看板、工事予告看板、徐行のお願い看板、右折工事中、左折工事中、この先工事中につき片側交互通行看板)矢印板、カラーコーン点滅等、工事用信号機を設置し、関係住民、工場関係者への方々には工事内容、工事期間、作業時間帯等紙面を持って、自治会長を通じて配布して頂き、関係住民の方の協力をお願いした。

- ② 関係住民の方との融和をはかるため書面を直接渡し、工事説明、仮駐車場への説明協力をお願いした。
- ③ 関係作業員には毎日挨拶運動を行う様周知徹底した。
- ④ 1週間に2回（火・金）工事に使用する道路の清掃を行った。
- ⑤ 下水道工事に興味があり度々現場を訪れる近隣住民に対しては、第三者災害の発生する恐れが有るため、作業内容を説明し施工場所に近づかないように理解を求めた。
- ⑥ 工事施工範囲の車両の出入りが出来なくなる為、空地をお借りし施工範囲の車両の仮駐車場として移動をお願いした。またその部分の工事完了後には、関係住民の方に声掛けし車両移動のお願いをした。（図-1）
- ⑧ 関係住民、関係工場には、1週間の工程表および、進捗状況、平面図を配布し、工事及び通行がスムーズになるよう、配慮した。
- ⑨ 寺院の住職と、事前に打ち合わせをして法要等の行事などの時は交通誘導員を増員し車両の入出時交通事故が起きないように配慮した。
- ⑩ 近隣の工場にも平面図、工程表を持参し車両担当者と打ち合わせをして、大型車両の1日平均出入りの台数、搬入時間帯など聞き取りし、工場の稼働に迷惑が掛からないよう対策を考え、大型車両の通行が少ない時間帯に部分規制をかけ作業をし、また仮設材を準備し急遽、大型車両が来ても、対処できるようにした。
- ⑪ 工事区間は通学路でもあるため、学校にも工事説明資料を持参して、打ち合わせを行った。

登校時の時間帯は作業停止、下校時には、作業を止め、作業員が誘導し、通過したのを確認し作業を再開させるよう周知徹底した。

4. おわりに

関係住民、関係工場の方々のご協力、また工事関係者の協力にて無事故、無災害で工事を完成させることが出来ました。

これからも地域住民の方々との事前打ち合わせ、事前調査を行い、地域優先、安全優先で工事現場を運営して行きたいと思う。

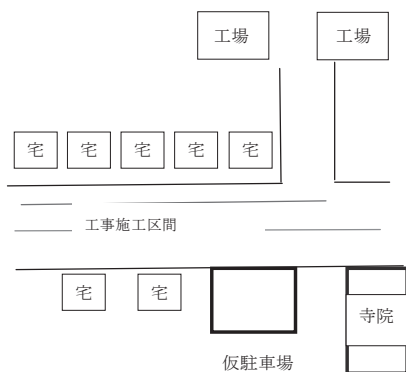


図-1 仮駐車場及び工事場所

- ⑦ 仮駐車場、の出入口付近には常に見えるところに交通誘導員を配置し、仮駐車場から出入りする時、通行車両との交通事故が絶対に起きないように配慮した。（図-2）



図-2 交通誘導員配置